

「相手の心の温度を感じられる人に」

みなさん、おはようございます。土曜日の玉堤フェスタ、玉フェスが行われました。

PTAの方々や地域の方々、先生たち、そして小学生の皆さんが楽しいイベントにしようとして盛り上げてくれました。とても楽しかったですね。また、来年まで楽しみにしていて

みなさんは、床屋さんや美容室で髪を洗ってもらったことがありますか？その時に

「お湯の加減は、いかがですか？」と聞かれたことがありますよね。

あの言葉ってとても大事な言葉だと思います。お湯が熱すぎても、冷たすぎても気持ちよくありません。だから床屋さんは、ちゃんとお客さんの気持ちをたずねて、ちょうどいい加減にしてくれるのです。ありがたい気遣いです。

これって友達との関係にも似ていると思いませんか？例えば、

・ふざけすぎて相手がいやな気持ちになっていないかな？

・困っている友達に少し手を貸してあげたほうがいいのかな？そんな風に「相手の気持ちの加減」を感じ取ることが大切です。友達関係にもちょうどいい加減があります。

自分が楽しいだけでなく、相手も気持ちよくいられるように。相手の心の温度を感じ取れる人になってほしいと思います。

今日からみなさんも、床屋さんのように「相手の気持ちの加減をたずねられる人」になってくださいね。